

令和5年度「人権を確かめあうアンケート」 結果資料

奈良県教育委員会

【実施目的】

- 県内の児童生徒が「いじめ」の被害者にも加害者にもなることのないよう、また、教職員等の言動による「ハラスメント」が起きることのないよう、お互いに人権を確かめあうとともに、学校環境を点検する機会とする。
- 実施結果を、人権尊重の視点に立った学校づくりの推進に役立てる。

【実施方法等】

- 実施対象 県内の公立学校（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校）の児童生徒
- 実施方法 Google Workspace for Education のフォームを活用して、各学校にて実施
- 実施期間 「人権を確かめあう日」である令和5年12月11日（月）を基準日として、12月末までに実施
- 実施状況 回答数等

<回答学校数合計>	318校
小学校	177校
中学校	93校
義務教育学校	8校
高等学校	33校
特別支援学校	7校
<児童・生徒数合計>	89,809人
小学校（義務教育学校前期・特別支援学校小学部を含む）	49,944人
中学校（義務教育学校後期・特別支援学校中学部を含む）	22,570人
高等学校（特別支援学校高等部を含む）	17,295人

【資料の項目】

- (1) いじめとを感じるようなことをされて嫌な気持ちになったこと
- (2) 相手を嫌な気持ちにさせたこと
- (3) 教職員からの言動に関すること
- (4) 一人一人のちがいを認め合うこと

※結果の表示について

「今年度の回答者数」「今年度の割合」「前年度の割合」を並べて表示
（「今年度の割合」を [] 内に、「前年度の割合」を（ ）内に示す。）

◆今年の 4 月から今までの間に、あなたが学校の先生から言われたり、されたりしたことについて振り返ってください。(「学校の先生」とは、担任の先生だけでなく、あなたの学校にいるすべての先生のことです。)

質問 5

今の学年になってから、学校の先生がしてくれたことで、うれしい気持ちになったことがありますか。

- ① ある (→質問 6 (1)へ) ② ない (→質問 6 (2)へ)

質問 6

(1) (質問 5 で、「① ある」を選んだ人だけ答えてください。)

どのようなことをしてくれましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

- ① 楽しく、分かりやすい授業をしてくれた ② 悩みを聞いたり、相談に乗ったりしてくれた
③ 困っているとき、助けてくれた ④ がんばったことを認めてくれた
⑤ 間違ったとき、納得いくまで話をしてくれた ⑥ 誰に対しても同じように接してくれた
⑦ 意見や考えを尊重してくれた ⑧ その他(※200字まで)

(2) (質問 5 で、「② ない」を選んだ人だけ答えてください。)

どのようなことをしてほしいですか。当てはまるものをすべて選んでください。

- ① 楽しく、分かりやすい授業をしてほしい ② 悩みを聞いたり、相談に乗ったりしてほしい
③ 困っているとき、助けてほしい ④ がんばったことを認めてほしい
⑤ 間違ったとき、納得いくまで話をしてほしい ⑥ 誰に対しても同じように接してほしい
⑦ 意見や考えを尊重してほしい ⑧ その他(※200字まで)

質問 7

今の学年になってから、学校の先生からされたことで、嫌な気持ちになったことがありますか。

- ① ある (→質問 8 へ) ② ない (→質問 9 へ)

質問 8 (質問 7 で、「① ある」を選んだ人だけ答えてください。)

(1) どのようなことをされましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

- ① 理由がよくわからないまま、しかられた
② 不安な気持ちになるようなことを言われた
③ 何度も話しかけているのに、話を聞いてくれなかった(無視された)
④ 自分の容姿(見た目)のことをからかわれた
⑤ 性別によって決めつけられるようなことを言われた(「男(女)のくせに・・・」、「女(男)なんだから・・・」など)
⑥ 個人的に、性的なことを聞かれたり、性的な話や冗談を言われたりした
⑦ 嫌だったのに、体を触られた
⑧ その他(※200字まで)

(2) 嫌な気持ちになったことを、誰かに相談しましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

- ① 学校の先生に相談した ② 家族に相談した
③ 友だちに相談した ④ 学校の先生や家族、友だち以外の人に相談した
⑤ 相談窓口相談した ⑥ 誰にも相談していない

質問 9

絵のように、私たちが暮らしている町(社会)には、様々な人たちがいます。あなたの学校でも様々な人たちがともに生活しています。

(1) あなたの周りの人たちは、一人一人のちがいを認め合うことができていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① できていると思う ② 少しはできていると思う
③ あまりできていると思わない ④ できていると思わない

(2) あなたは、一人一人のちがいを認めることができていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

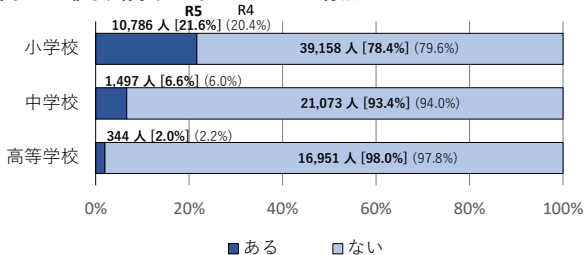
- ① できていると思う ② 少しはできていると思う
③ あまりできていると思わない ④ できていると思わない



「なかまとともに」より

(1) いじめと感じるようなことをされて、嫌な気持ちになったこと

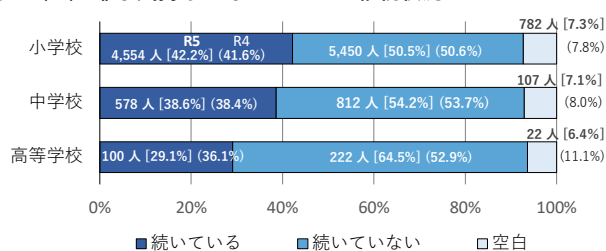
問1 嫌な気持ちになったことの有無



学校段階が進むにつれ、「嫌な気持ちになったことがある」と回答した児童生徒の割合は下がる傾向にあった。

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

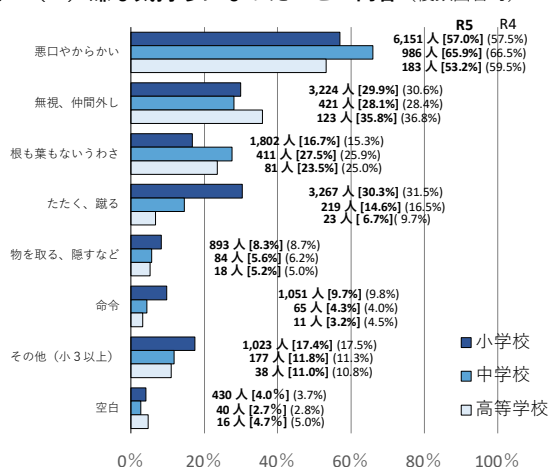
問2 (3) 嫌な気持ちになったことの継続状況



小学校・中学校において、約4割の児童生徒が嫌な気持ちになったことが解消されていなかった。(回答時点)

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

問2 (1) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)



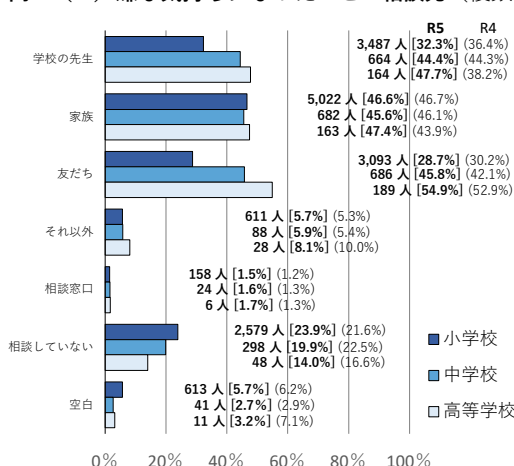
「その他」の記述例

- 嫌なあだ名を付けられた
- 中指を立てられた
- 体のことについてからかわれた
- 嫌な写真を広められた
- 等

嫌な気持ちになった内容について、全校種において、「悪口やかからかい」が最も多かった。

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

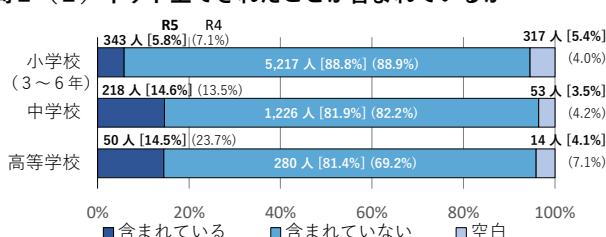
問2 (4) 嫌な気持ちになったことの相談先 (複数回答可)



学校段階が進むにつれ、「友だち」に相談する割合は上がる傾向にあった。また、全校種において約2割の児童生徒が「相談していない」と回答した。

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

問2 (2) ネット上でされたことが含まれているか

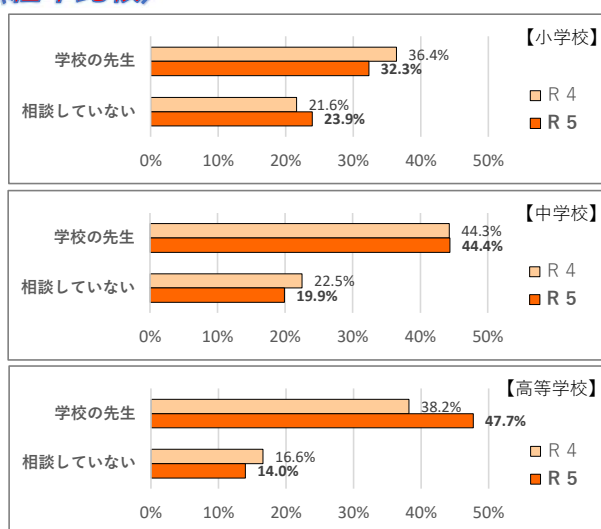


【参考】問2 (1) より

小学校1・2年生における、「ネットを使って、悪口を言われたり、仲間はずれにされたりした」と回答した人数と割合 252人 [5.1%] (3.0%)

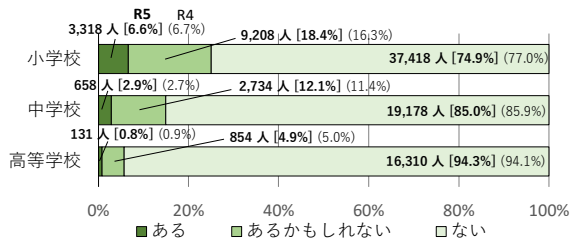
嫌な気持ちになったことについて、ネット上でされたことが含まれている割合は、昨年度より中学校で1.1%増加し、小学校で1.3%、高等学校で9.2%減少した。

経年比較 「嫌な気持ちになったことの相談先」



(2) 相手を嫌な気持ちにさせたこと

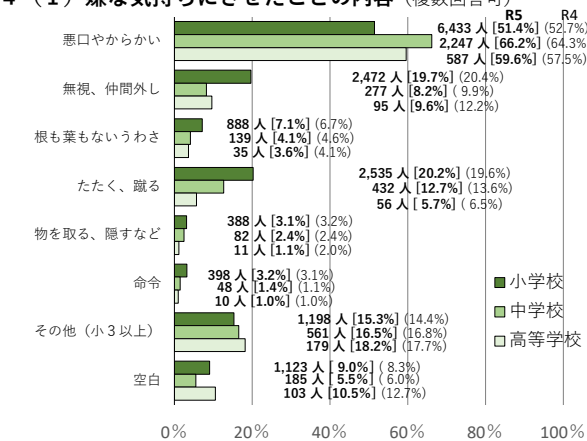
問3 相手を嫌な気持ちにさせたことの有無



学校段階が進むにつれ、「嫌な気持ちにさせたことがある」「あるかもしれない」と回答した児童生徒の割合は下がる傾向にあった。

(問3で「ある」「あるかもしれない」と回答した児童生徒について)

問4 (1) 嫌な気持ちにさせたことの内容 (複数回答可)

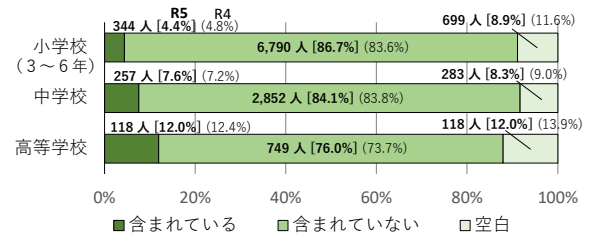


「その他」の記述例

- ・叩かれた人にやり返してしまった
- ・強い口調で言ってしまった
- ・相手の写真を無断で加工した
- ・いじりをした
- 等

嫌な気持ちにさせた内容について、全校種において、「悪口やからかい」が最も多かった。

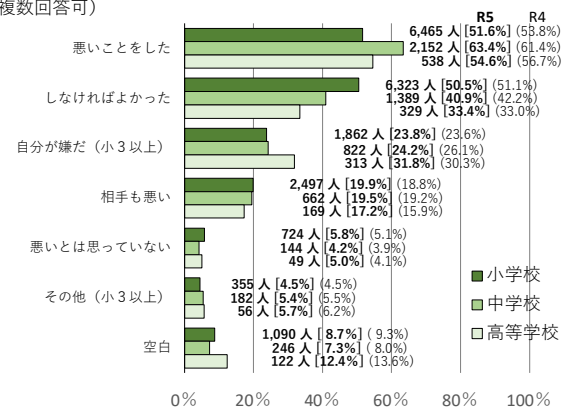
問4 (2) ネット上でしたことが含まれているか



【参考】問4 (1) より

小学校1・2年生における、「ネットを使って、悪口を言ったり、仲間はずれにした」と回答した人数と割合 156人 [3.3%] (2.7%)

問4 (3) 嫌な気持ちにさせたことに対する気持ち (複数回答可)



「その他」の記述例

- ・これからは気をつけようと思っている
- ・自分も悪いけど相手も悪いと思う
- ・言い過ぎたかもしれない
- ・よくわからない
- 等

嫌な気持ちにさせたことに対する気持ちについて、全ての校種において反省や後悔の回答が多かったが、2割近くは「相手も悪い」と回答した。

〈クロス集計1〉

「嫌な気持ちにさせたこと」と「嫌な気持ちになったこと」の重なり (問1) × (問3)

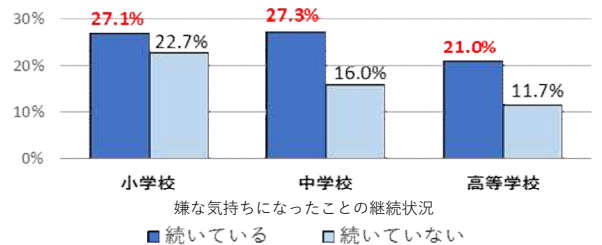
嫌な気持ちにさせた児童生徒のうち	嫌な気持ちになった児童生徒のうち
小学校 3,318人	1,621人 (48.9%)
中学校 658人	149人 (22.6%)
高等学校 131人	25人 (19.1%)

「嫌な気持ちにさせたこと」と「嫌な気持ちになったこと」には重なりがある。嫌な気持ちにさせたことがある児童生徒のうち、小学校では約半数、中学校、高等学校では約2割が嫌な気持ちになったことがある。

〈クロス集計2〉

「嫌な気持ちになったことの継続状況」と「嫌な気持ちになったことの相談先」の関係 (問2 (3)) × (問2 (4))

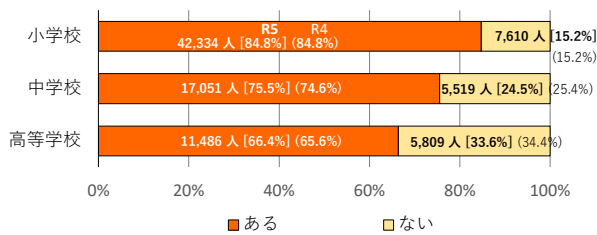
○「いじめと感じるような嫌な気持ちになったことを、誰にも相談していない」を選択した割合



嫌な気持ちになったことが続いていると回答した児童生徒は、誰にも相談していない割合が高い。

(3) 教職員からの言動に関すること

問5 うれしい気持ちになったことの有無



(問5で「ある」と回答した児童生徒について)

問6 (1) うれしい気持ちになったことの内容 (複数回答可)

学校種別		R5	R4
小学校	1 楽しく、分かりやすい授業	28,607人 67.6%	68.6%
	2 がんばったことを認めてくれた	21,049人 49.7%	49.9%
	3 困っているとき、助けてくれた	18,000人 42.5%	41.2%
	4 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	13,558人 32.0%	32.6%
中学校	1 楽しく、分かりやすい授業	11,084人 65.0%	63.8%
	2 がんばったことを認めてくれた	7,274人 42.7%	43.6%
	3 困っているとき、助けてくれた	5,518人 32.4%	30.8%
	4 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	5,079人 29.8%	29.0%
高等学校	1 楽しく、分かりやすい授業	6,049人 52.7%	52.4%
	2 がんばったことを認めてくれた	4,439人 38.6%	39.2%
	3 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	3,232人 28.1%	29.3%
	4 困っているとき、助けてくれた	3,044人 26.5%	27.6%

「その他」の記述例

- 一緒に話をいっぱいしてくれた
- 私のことを見てくれていたと感じた
- 体調が良くないとき心配してくれた
- たくさん褒めてくれた
- クラスの雰囲気を楽しませてくれた
- 等

(問5で「ない」と回答した児童生徒について)

問6 (2) 教職員にしてほしいことの内容 (複数回答可)

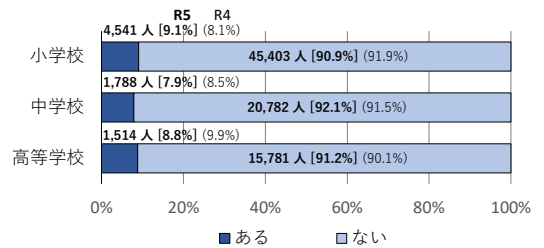
学校種別		R5	R4
小学校	1 楽しく、分かりやすい授業	2,834人 37.2%	37.0%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	1,743人 33.2%	29.9%
	3 がんばったことを認めてほしい	1,526人 20.1%	19.0%
	4 納得いくまで話してほしい	1,480人 19.4%	18.5%
中学校	1 楽しく、分かりやすい授業	2,093人 37.9%	37.9%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	1,611人 29.2%	29.6%
	3 がんばったことを認めてほしい	850人 15.4%	14.8%
	4 意見や考えを尊重してほしい	807人 14.6%	14.8%
高等学校	1 楽しく、分かりやすい授業	2,054人 35.4%	37.7%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	997人 17.2%	16.9%
	3 がんばったことを認めてほしい	713人 12.3%	12.3%
	4 意見や考えを尊重してほしい	651人 11.2%	11.5%

「その他」の記述例

- 人によって態度を変えるのをやめてほしい
- 男女差別をやめてほしい
- 生徒の話聞いて欲しい
- 言葉遣いを直してほしい、下に見ている感じを直してほしい
- 等

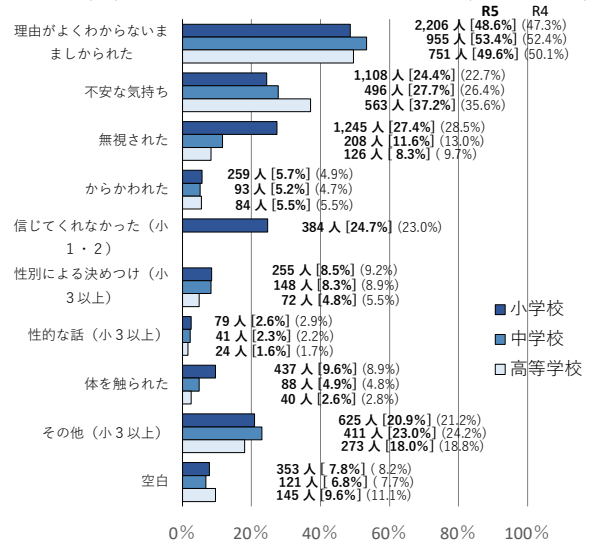
うれしい気持ちになったこと、教職員にしてほしいことについて、「楽しく、わかりやすい授業」が最も多かった。また、上位を占める項目は、校種間での差はあまり見られなかった。

問7 嫌な気持ちになったことの有無



(問7で「ある」と回答した児童生徒について)

問8 (1) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)



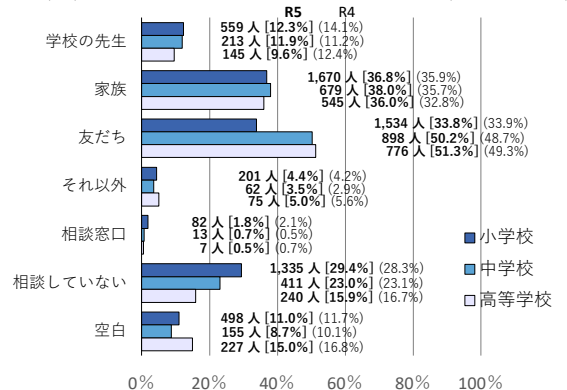
「その他」の記述例

- 他の人もしていたけど自分だけが怒られた
- 挨拶をしたのに返してくれなかった
- 嫌みを言われた
- 時間を守ってくれない
- 怒り方が怖い
- 等

嫌な気持ちになった内容は、全校種において「理由がよくわからないまま、しかられた」が最も多かった。

(問7で「ある」と回答した児童生徒について)

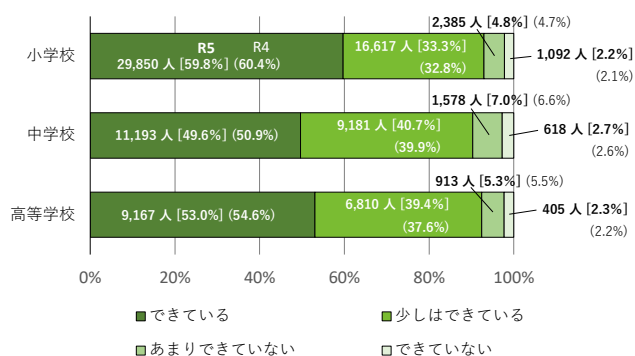
問8 (2) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)



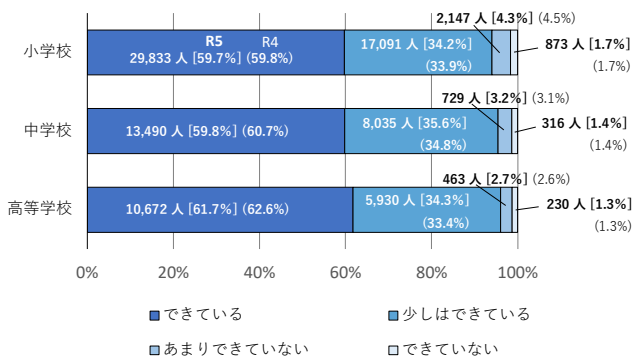
教職員からの言動で嫌な気持ちになったことの内容の相談先について、「学校の先生」に相談する割合は約1割であった。また、約2〜3割が「相談していない」と回答した。

(4) 一人一人のちがいを認め合うこと

問9 (1) 周りの人たちは、ちがいを認め合っているか



問9 (2) 自分は、ちがいを認めることができるか



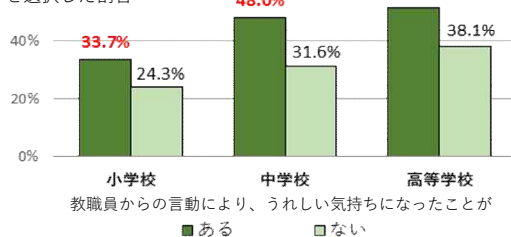
9割以上の児童生徒が、周りの人たちに対して、自分自身に対して、ちがいを認めることが「できている」もしくは「少しはできている」と回答した。

〈クロス集計3〉

「先生への相談」と「教職員からの言動」の関係

(問2 (4)) × (問5)

○ 「いじめと感じるような嫌な気持ちになったことを、学校の先生に相談した」を選択した割合

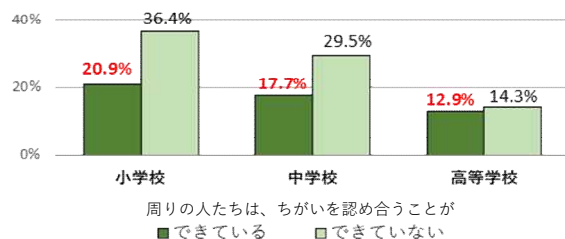


教職員からの言動で、うれしい気持ちになったことがある児童生徒は、学校の先生に相談している割合が高い。

〈クロス集計4〉

「嫌な気持ちになったことの相談先」と「周りの人たちのちがいに対する考え」の関係 (問2 (4)) × (問9 (1))

○ 「嫌な気持ちになったことを、誰にも相談していない」を選択した割合

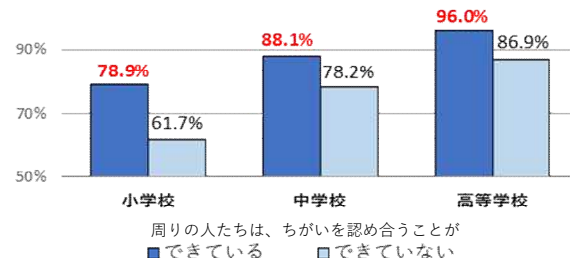


周りの人たちは、ちがいを認め合っていると感じている児童生徒は、誰にも相談していない割合が低い。

〈クロス集計5〉

「相手を嫌な気持ちにさせたこと」と「周りの人たちのちがいに対する考え」の関係 (問3) × (問9 (1))

○ 「相手を嫌な気持ちにさせたことがない」を選択した割合



周りの人たちは、ちがいを認め合っていると感じている児童生徒は、相手を嫌な気持ちにさせたことがない割合が高い。